



REPORT

おかがまデレパーク



おかやまプレパークについて

PLAYPARK

プレパークは1943年にデンマークで誕生した子どものための遊び場です。

日本では、1979年に行政と市民による協働運営で世田谷区の国際児童年記念事業として「羽根木プレパーク」が誕生しました。現在、日本では400以上の地域でプレパークの活動が行われています。

おかやまプレパークは、大人が決めたプログラムではなく、子ども自身が自分で決めて遊びます。そして、行きたい時に行ける遊び場です。

プレパークでは仲間と遊んだり、しゃべったり、時にはひとりでぼーっとしたり、自分の今を自分で選択して過ごしています。そしてプレパークにはいろんな人がいます。出会いがあり、時にはケンカもあるけれど、無我夢中で一緒に遊んだ記憶は大人になった時の生きた証になります。

子どもが自由に居られる場、そして誰もが居やすい場を市民、行政など、様々な方と一緒につくりたいと考えています。

2018年度をふり返って

2018年度の9月からプレーリーダー1人体制から2人体制になり、子どもたちが使う道具の整理や遊具などの環境づくりがスムーズに進むようになりました。そして何よりのんびりとした時間が増えたと感じています。子どもも大人も、忙しそうにしている人には声をかけづらいものです。のんびりとした時間が流れることで、相談したり、ぼーっとしたりしながら、そこに居られます。中高生も来やすくなっているように感じています。より、異年齢の関わりも増えてきて、中学生が年齢の小さい子どもの面倒を見ていたり、お母さんが中学生の話を聞いていたり、新しい一面が見えてきました。



年間行事

EVENT

春 夏 秋 冬



森であそぼ!

対象:乳幼児親子

開催日:第2木曜日(11:00~12:00)

年間35回開催

ベーゴマ大会&カレー

毎月1回(土曜or日曜)開催 年12回

誕生祭

4月22日(日)

ウォータースライダー

7月29日(日)開始

そうめん流し

7月29日(日),8月5日(日)

子ども商店

8月25日(土)

お月見会

9月22日(土)

夜のクリスマス会

12月22日(土)

おもちつき

1月13日(日)

鬼フェス(節分祭)

2月2日(土)

プレーパークコラム 遊びが生まれる時

頭の中に、チャレンジしたくなる何かアイデアが浮かんだら、それをやってみるのが「遊び」。

- ・ちょっと難しいけど「できるかもしれない」
- ・他の人が誰もやっていない
- ・他の人より上手にやりたい
- ・自分の世界を表現したい

子どもの日常は「チャレンジ」で溢れている。

「新しい将棋の遊び」

スラックラインとボードゲームの将棋の駒で新しい遊びが生み出されていました。駒の幅が、丁度スラックラインと同じ幅だったからでしょうか。スラックラインを盤に見立てて、その上で勝負する新しい将棋。右手に持っている敵方の駒を左手に持っている駒が取りました。

そして、この新しい将棋は、一瞬で終わり、二度と遊ばれることはありませんでした。そこに輝きがあります。

将棋の駒の
大きさがミソ。



「輪キャッチ遊び」

子どもが投げた「輪投げ」の輪をお父さんがキャッチする遊び。ただキャッチするのではなく、輪にスッと通さなければいけないルール。投げる時は縦むきに投げるからキャッチする時に手を輪に入れるのは注意深くないと入れられない。親子の息があっていないとキャッチできないので、見ている側もハラハラしました。

遊びの
輪が、
広がった。



「将棋の駒を積み上げる遊び」

どこまで高く積み上げられるか挑戦します。崩れた時に最後に置いた人が負けというルール。普通に置いてもつまらないので、次々と難しい置き方にチャレンジしていきます。そして、最後は…崩れました。

集中力と
戦略の
新ゲーム。



「やどかりアスレチック遊び」

前半は、タイヤの中でサイズを確かめていました。自分の体に丁度合う大きさでした。それに満足すると、次は外に出てきました。ぶら下がったり逆さになったり、横になったりよじ登ったり…

自分ができる「全ての動き」を発見して試しているようでした。



自分の
大きさだから。
今だけの経験。

蝉を取る、
観察する。
発見する。



「夏の蝉取り遊び」

樹々の間を観察しながらみんなで蝉取り。上を見上げたり、音に反応したり。全身で蝉を探していました。



「穴から始まる遊びの物語」

穴を掘る、掘った土を丸めて投げる、穴を飛び越える、穴に入る、穴の中に船を浮かべて釣をする、穴に泥を投げ入れる、穴を埋める、滑り台を置く、落とし穴が完成する、落ちないように体で防ぐ、もう一度穴に落ちて遊ぶ、穴に電線ドラムを入れてみる、再び入ってみる、小さな押車を滑らせて落としてみる、水をためて船を浮かべる、水を溜める…

延々と新しいことにチャレンジする時間が流れていました。



遊具は地面。
こんなにも
遊べる。

「遊ぶ」は生きた証 = 自信

中学生が高校受験の報告をしに来てくれました。話すのは、小学生の頃のケンカやチャレンジした『危ない』『汚い』『うるさい』『バカバカしい』話ばかり。帰る時に「今の自分があるのはプレーパークのおかげだったと思います」と教えてくれました。

普及事業

PROMOTION

岡山市プレーパーク普及事業

「子どもの遊ぶ声が聞こえてくる地域づくり」を目指し、市内6ヶ所の地域で、プレーリーダーの養成およびプレーパークの開催を、地域の方々と協働で実施しました。

◆プレーパークの開催と参加者数

築港ひかり町第一公園	11月3日(金・祝)	150人
瀬戸下公園	11月18日(日)	245人
吉備の中山	11月25日(日)	230人
大供本町西公園	12月16日(日)	120人

◆プレーパーク体験会

東山公園	10月11日(木)	10人
(実施団体: 旭東おやこクラブ アップル会)		
福崎ちびっこ広場	11月10日(土)	100人
(実施団体: 高松子ども劇場)		
瀬戸町運動総合公園	11月4日(日)	80人
(実施団体: 千種やんちゃっこ)		
亀山城跡地	12月15日(土)	60人
(実施団体: 亀山城保存会)		

◆研修会

基礎研修会	6月24日(日)	54人
全体研修会	2019年2月3日(日)	73人



緑の遊び場プロジェクト

公園のもつ様々な魅力を発見し、これからの公園のあり方、関わり方を再考する機会として、まちなかの公園で、自然に触れ、人と関わりながら子どもが主体的に遊ぶことのできる場づくりを行いました。

西川緑道公園	7月22日(日)	480人
野田屋町公園	10月13日(土)	236人
外遊び展(岡山市役所1F市民ホール)	8月8日(水)~10日(金)	145人



出張プレーパーク

庄内小学校	10月1日(月)	88人
〃	10月22日(月)	56人
上道公園	12月24日(月)	17人
	12月25日(火)	30人
	2019年1月14日(月)	70人
	2019年3月30日(土)	8人
	2019年3月31日(日)	22人
※2月は大雪のため中止		

※西日本豪雨災害被災支援として開催

上南公民館	2019年2月9日(土)	42人
中国短期大学中庭	2019年3月3日(日)	253人



おかやまプレーパーク開催のきろく

開催日時：毎週水～日曜日

4月～9月 10:00～17:00 / 10月～3月 10:00～16:00

開催場所：国際児童年記念公園こどもの森（岡山市北区学南町3-6-1）

2018 まとめ

【記録】

開催日数 198日

参加者数 13,198人

ボランティアスタッフ 677人

一般ボランティア 18人

学生ボランティア 105人

大学生の受入れ（授業、インターシップ等）43人

高校生 16人



大学生研修受け入れ

サポーターの皆様

おかやまプレーパークをご支援頂き、ありがとうございます。

赤岩 和恵	勝部 菜月	鈴木 千恵	西 雄馬	山本 玲子
明平 深雪	勝部 真理	田中 裕希	西 桂子	横山 由美恵
石田 愛子	河瀬 祥子	田中 裕子	西 幸夫	他
石原 睦美	河瀬 陽紀	玉井 とし子	西 豊	
市岡 真理	玄馬 淳子	道仙 八代己	藤岡 知美	団体
大倉 奈緒美	後藤 敏恵	徳田 睦美	船田 文子	森のおやこさんぽ会こもれび
小川 亨	小山 久栄	中川 薫	松田 秀太郎	他
角野 小百合	小山 陽菜乃	南田 以久子	光信 依里	
勝部 駿一	坂尾 あすか	南田 章滋	宮内 和代	

おかやまプレーパークには、赤ちゃんから小学生、もっと大きな子どもたちまで、いろんな子どもが遊びに来ています。あなたも、プレーパークの運営に関わってみませんか。

おかやまプレーパークでは、サポーターを募集しています。サポーターには、活動記録等を年1回お届けします。プレーパークの運営には、経費がかかります。例えば、プレーリーダーの人件費、材料、工具・・・等々。サポーターになってくださる方が1人増えることで、その分だけプレーパークを続けて行くことができます。

遊び場の応援団として、あなたの参加をお待ちしています。

●サポーター：1口＝1,000円／1年分（4月～3月）



特定非営利活動法人

岡山市子どもセンター

〒701-0144 岡山市北区久米348番地

TEL. 086-242-1810

FAX. 086-242-1830

E-mail. info@kodomo-npo.jp

http://www.kodomo-npo.jp